

令和5年度 施策評価シート

施策の大綱	3. 交通拠点性を生かした都市活力の向上	評価担当者
基本施策	(2) 地域に根ざした商工業の活性化	産業環境部長 富田 真左哉
目指す姿	市内事業者が、地域に根ざし活発な経営を行っています。	
関連する分野別計画		

■ SDGs

基本施策に関連するSDGsのゴール	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 	17 パートナリシップで目標を達成しよう 
SDGs推進の考察	エネルギーなどの価格高騰による影響を受ける事業者に対し、エネルギー価格高騰対策事業の実施により、事業者の負担軽減に寄与したことで、産業と技術革新の基盤となる中小企業や個人事業者の経営安定を図った。また、亀山商工会議所との連携により、市内での創業を促したことで、地域に根ざした商工業の活性化を図り、持続可能なまちづくりに寄与した。	

■関連する主な事業

(単位:千円)

[illegible]

太字：主要事業

■成果指標

指標			現状値		実績値				目標値
					R4	R5	R6	R7	
1	都市拠点における新規出店数	件	—	—	2	2			8
2	商工業団体等による商工業活性化に向けた取組件数	件	—	—	1	2			4
3	地域ブランドの認定件数	品目	17	R3	34	39			57
4	創業件数	件	—	—	11	21			12
5									
6									
7									
8									

■市民アンケート調査

項目			現状値 [R2]	1次 [R5]	2次 [R6]	市民アンケートの考察
1	日常の買い物がしやすい	重要度	1.39	1.48		外食や宴会等を行う場所の充実堪比べ、日常の買い物のしやすさへの重要度は高い。日常の買い物のしやすさに対する満足度はプラスとなっているが、外食や宴会等を行う場所の充実に対する満足度が低く、それぞれ重要度を考慮しつつ、満足度向上につながるよう更なる取り組みが必要である。
		満足度	0.22	0.27		
2	外食や宴会等を行う場所が充実している	重要度	0.58	0.65		
		満足度	▲ 1.01	▲1.06		
3		重要度				
		満足度				
4		重要度				
		満足度				

■施策推進 [施策の方向]

施策の方向	施策推進に関する考察
① にぎわいのある商業地域の形成	創業を目指す方が活用しやすいよう空き店舗等活用支援事業の制度を見直した。亀山駅前や大型商業施設との回遊性を高め、にぎわいのある商業地域の形成を目指す。
② 多様な主体による一体的な商工業活性化の促進	商工関係団体や労働関係団体の様々な活動に対して、財政支援を行った。今後も、商工会議所と連携した支援で、商工業団体の組織力や団体間の一層の連携強化を図る。
③ 事業者の経営安定化と事業活動の活性化	エネルギー価格等高騰対策として、市内事業者への支援を継続して行った。亀山ブランドの特設コーナー設置や情報誌への掲載など、生産者の生産・販売意欲を高めた。
④ 新たなビジネスの創出	創業セミナーや利子補給など、創業者支援メニューが有効活用された。創業者の負担軽減と経営安定を継続して図り、にぎわいのある商業地域を形成していく。
⑤	
⑥	
⑦	

総合評価

創業セミナーや空き店舗等活用支援事業、小規模事業者等経営支援事業による個別の経営相談、創業資金利子補給制度や保証料補給制度など、様々な創業支援の実施により、市内で10事業者の創業につながった。また、空き店舗等活用支援事業については、創業を目指す方が活用しやすいよう制度を充実させるなど、にぎわいのある商業地域の形成や新たなビジネスの創出に向けて、概ね順調に進んだ。多様な主体による一体的な商工業活性化の促進については、商工関係団体や労働関係団体への財政的支援を行うと同時に、亀山商工会議所と連携した支援により商工業団体の組織力や団体間の一層の連携強化を図った。特に、コロナ禍により中止が続いていた亀山市については、亀山市商業団体連合会を中心に支援を行ったことで4年ぶりの開催につながり、これまでのにぎわいを取り戻すことができた。事業者の経営安定化と事業活動の活性化については、エネルギーなどの物価高騰による事業者への負担軽減を図るため、前年度に引き続きエネルギー価格高騰対策事業を2回に渡って実施した。さらに、亀山ブランドについては、高島屋等が主催する販売イベントへの参加、青木シェフとのコラボ商品開発、そのほか道の駅等への特設コーナー設置、情報誌への掲載など、亀山ブランドと観光を連動させて市の特産品をPRすることで、生産者の生産・販売意欲を高め、産業振興と地域活性化につなげることができた。全体としては、基本施策に設定する成果指標において、地域ブランドの認定件数や創業件数が目標を超えるペースであり、基本施策が目指す姿に向けて順調に進めることができたと考ええる。

A

順調に進んだ

今後の展開方針

創業セミナーは希望者も多く、創業にもつながっており、空き店舗等活用支援事業については令和6年度に向けて創業にチャレンジできるよう拡充を行ったことから、引き続き亀山商工会議所と連携して、創業にかかる支援体制や相談体制の情報を発信し、創業意欲効果の向上につなげる。また、新型コロナウイルス感染症対策として、キャッシュレス決済によるデジタル化を推進したことから、既にアプリでウェルネス推進事業で利用されているアプリも含め、地域通貨やポイントなどデジタル技術を活用した取り組みを検討する。さらに、亀山ブランドについては、これまでのPRに加え、亀山ブランド認定事業者に対し、新商品の開発や販路拡大など専門家による伴走型の支援を行うとともに、亀山茶を素材とした本市ならではの食文化を楽しむ新たなフードツーリズムの提案など、観光プロモーションとも連動させた取り組みを行う。